

2020年3月3日

三井化学株式会社

「ありがとう 炭鉱電車プロジェクト」を開始します

大牟田・三井化学専用線（旧三池炭鉱専用鉄道）の廃止と未来に向けたレガシーの活用

三井化学株式会社（東京都港区、代表取締役社長：淡輪敏）は、大牟田工場（福岡県大牟田市）において原材料の搬入等に使用している三井化学専用線（旧三池炭鉱専用鉄道）を2020年5月を目途に廃止するとともに、三池炭鉱の時代から現在に至るまで100年以上の長きにわたり活躍を続けてくれた炭鉱電車への感謝と、未来に向けたレガシーとしての活用を検討する「ありがとう 炭鉱電車プロジェクト」を開始します。また、2020年6月にラストラインイベントを開催する予定ですので、内容・日時等詳細決まり次第、当社WEBサイトにてお知らせいたします。



■ 旧三池炭鉱専用鉄道

1878（明治 11）年、三池炭鉱の大浦坑から石炭を搬出するために敷設された馬車鉄道が歴史のはじまりです。1891（明治 24）年には蒸気機関車の運転が開始され、1908（明治 41）年に三池港が開港すると、石炭輸出の増大とともに、1909（明治 42）年から電化を開始し、電車が走り始めました。支線を含む総延長は約 18.5km に及び、1964（昭和 39）年から 1972（昭和 48）年までは地方鉄道として旅客の輸送も担いました。大牟田の風景として、町の人たちからは「炭鉱電車」の愛称で親しまれていました。1997（平成 9）年の三井三池炭鉱の閉山とともに、その多くの路線は廃止されましたが、一部の区間（1.8km）は三井化学専用線として当時の車両とともに運行を継続してきました。また、三池炭鉱専用鉄道敷跡は、「明治日本の産業革命遺産」として 2015（平成 27）年に世界文化遺産に登録されています。

「ありがとう 炭鉱電車プロジェクト」の概要

1. 「風景の資産」記録化プロジェクト

現在、三井化学専用線で使用している車両は、1915（大正 4）年三菱造船製を始め日本で稼働する最古級の電気機関車と言われています。当社では修理・メンテナンスをしながら、これまで大切に使用してきました。今回、これまでの炭鉱電車の歴史を振り返りつつ現在も現役で稼働している様子を、2019 年公開の映画「いのちスケッチ」などを製作した映画監督の瀬木直貴氏に「風景の資産」としてメモリアル映像を製作して頂きます。完成した映像は、大牟田市及び関係団体へ寄付・提供いたします。

また、皆様から大牟田の炭鉱電車にまつわるエピソードを募集したいと思いますので、ご協力頂けます方は別紙ご参照のうえ、受付窓口（ソウルボート株式会社）までご連絡ください。



映画監督 瀬木直貴 <http://soul-boat.com/>

1963 年、三重県出身。映像制作会社ソウルボート株式会社代表取締役。

映画監督/TV・CF ディレクター/エッセイ・コラムの執筆/環境・人権に関する講演活動、各地のまちづくりアドバイザーも務め、活躍の場は多岐にわたる。

自然や地域コミュニティをモチーフにした作品に定評がある。

みえの国観光大使・四日市市観光大使・明和町観光大使・福島県しゃくなげ大使・宇佐市観光交流特別大使。2008 年市制 111 周年記念・四日市市民文化奨励賞受賞。2020 年から大牟田大使。

炭鉱電車エピソード募集 受付窓口（募集期間 ～3/20 まで）

ソウルボート株式会社（担当：三浦）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-18-10 三光ビル 2F

TEL : 03-5577-4502 FAX : 03-6273-7214

E-MAIL : info@soul-boat.com

2. 「音の資産」記録化プロジェクト

炭鉱電車が発する「音」を記録として残すため、炭鉱電車にまつわる音を ASMR*音源としてアーカイブします。音源はだれでも聞くことができるとともに、ミュージシャンの方々にもサンプリングとして無償で使用して頂けるよう、株式会社 QUANTUM と株式会社オトバンクが手掛けるブランド・オーディオレーベルの SOUNDS GOOD® とコラボレーションし、「音の資産」を多くの人に楽しんでもらえるコンテンツへと価値化し、公開してまいります。また、Seiho（セイホー）氏による炭鉱電車の音源を活用した楽曲の制作を行う予定です。

*ASMR (Autonomous Sensory Meridian Response) : 人が聴覚や視覚への刺激によって感じる、心地良い、脳がゾワゾワするといった反応・感覚



アーティスト Seiho <http://seihooo.com/>

大阪出身のアーティスト/プロデューサー/DJ。

米 Pitchfork や米 FADER など多くの海外メディアからのアテンションを受けながら、LOW END THEORY、SXSW といった海外主要イベントへも出演。国内外問わずアーティストのプロデュースやリミックスを手がける他、ファッションショーや展覧会などの空間音楽、映像作品の音楽プロデュースも行う。自らもインストレーション作品を発表するなど、音楽家の垣根を超え、表現の可能性を追求している。

SOUNDS GOOD® <https://soundsgoodlabel.com/>



SOUNDS GOOD®は、企業やブランドの中に埋もれている“音の資産”を多くの人を楽しめるコンテンツへと昇華し、聴覚でブランディングする「ブランドオーディオレーベル」です。工場の製造ラインで発生する特徴的な音や、製品使用時の音といった“ブランドを象徴する音”を企業やブランドの“音の資産”として捉え、音楽アーティストとのコラボレーションによる楽曲などコンテンツとしてリスナーに提供。企業とリスナー（生活者、消費者）の新たな接点を生み出しています。2019年3月5日の設立以来、参画いただいた企業とともに、BtoB イベントやラジオ CM など様々な形で“音の資産”を活用、その可能性を広げています。

3. ラストイベント&試写会

2020年6月を目途に、瀬木監督によるメモリアル映像の完成披露試写会とあわせて、ラストイベントを開催する予定です。内容・日時等詳細決まり次第、当社WEBサイトにてお知らせいたします。

*ラストイベントでは、車両の近くで写真等撮影できる機会をご用意致しますので、イベント期間外での一般ご見学はお受けしていません。

*また、一般道から撮影等を行う際は身の安全に十分に注意を払って行っていただくとともに、私有地への侵入、器物の破壊など、近隣地域のご迷惑にならないよう節度ある行動をお願いいたします。

4. 炭鉱電車の今後の取り扱い

現在も現役で稼働している5台（20t車両：3台、45t車両：2台）及びそれらに付随する各車両、駅舎等の取り扱いについて、現時点では未定です。今後、広く引き取りの希望などをお聞きし、協議のうえ、決定してまいります。



(写真左から、ソウルボート/瀬木監督、三井化学大牟田工場/高井工場長、大牟田市/関市長、2020年3月2日大牟田市役所にて)

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (担当：松永、TEL：03-6253-2100)

三井化学株式会社 大牟田工場 総務部 (担当：浦田、TEL：0944-51-8111)

ありがとう炭鉱電車プロジェクト

三池鉄道についてのエピソード募集

三池鉄道は、100年以上に渡り、大牟田のまちの中を走り、経済を支え、一時は市民の生活の足として親しまれました。ゴトゴトと貨車がゆっくり進むその音や時間が何とも伸びやかな空気を醸し出してくれました。この度、縁あって三池鉄道の歴史を未来に語り継いでいく動画「ありがとう三池鉄道」を制作させていただくことになりました。三池炭鉱、三池鉄道に関わった皆さん、沿線の皆さん、市民の皆さんの思い出やエピソードを中心にした作品です。そこで、三池鉄道について実感のこもったお話をビデオカメラの前でしていただける方、ご所有の動画、写真(特に古いもの)のご提供など、すなわち、取材・撮影へのご協力者を広く募集いたします。応募者多数の場合、すべての方にお話しを聞くことが出来ないのが残念ですが、三池鉄道への深く、熱い思いを奮ってお寄せ下さい。

映画監督 瀬木直貴



<取材協力者募集>

- *三池鉄道とのかかわり、思い出・エピソードなど、時代や場所を出来るだけ詳しくお書き下さい。
- *ご提供いただける動画・写真(特に古いもの)があればその内容をお教え下さい。
- *ご住所・お名前・年齢を忘れずに。
- *ご連絡先は、電話番号・メールアドレスなど、緊急の際でも連絡がつく方法をお教え下さい。

- *応募方法は、郵送、FAX、メールのいずれかでお願いいたします。
- *募集期間は、3月2日(月)～20日(金)消印有効とさせていただきます。
- *取材時期は、電話や対面での事前取材は3月中を、ビデオ撮影は4月中旬を予定しています。
- *ご出演料、交通費等の経費はお支払い出来ませんのでご了承下さい。

【応募先】

ソウルボート株式会社 三池鉄道エピソード募集係

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-18-10 三光ビル2階

FAX:03-6273-7214 E-mail: info@soul-boat.com

お問合せは、ソウルボート株式会社(担当:三浦)まで、電話、もしくはメールにてお願いします。

TEL:03-5577-4502 E-mail: info@soul-boat.com